平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場会社名　ダイナパック株式会社　　上場取引所　東 名
コード番号　3947　URL　http://www.dynapac-gr.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小嶋　厚
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 草野　雅夫　TEL 052-971-2651

四半期報告書提出予定日　平成24年11月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	33,338	0.0	737	△24.6	1,030	△4.6	435	17.7
23年12月期第3四半期	33,350	△1.5	978	△0.5	1,080	△5.3	370	△58.9

(注)包括利益　24年12月期第3四半期　1,633百万円　(560.7%)　23年12月期第3四半期　291百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	8.82	8.79
23年12月期第3四半期	7.49	7.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	53,672	29,119	54.2
23年12月期	52,252	27,882	53.3

(参考) 自己資本　24年12月期第3四半期　29,084百万円　23年12月期　27,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0.00	―	8.00	8.00
24年12月期	―	0.00	―		
24年12月期(予想)				8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年 1月 1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,500	4.5	1,300	5.7	1,600	16.5	1,100	2.8	22.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	51,612,959 株	23年12月期	51,612,959 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	2,201,625 株	23年12月期	2,213,171 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	49,406,853 株	23年12月期3Q	49,425,378 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記の業績予想に関する事項につきましては添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照願います。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要の増勢に支えられ回復過程を辿りましたが、海外経済の減速に伴い国内生産にもその悪影響が見られ始めました。内需は、公共投資が被災地域に限らず伸びているものの、輸出や鉱工業生産の鈍化を補うほどの力強さに欠け、製造業を中心に設備投資を先送りする動きも出ており、景気回復の足取りは緩慢なものにとどまりました。

段ボール業界全体の消費動向は、電機・機械部門を除き概ね前年を上回っており、生産数量は１～９月累計（９月は速報値）では前年同期比100.7%となりました。

このような環境下当社グループは、段ボール製品の販売数量において過半を占める食料品・青果物分野を中心に前年を上回る水準を確保しました。昨年秋以降、主原材料価格が上昇したため製品価格の改定に努めましたが、薄物化・軽量化の影響も受け平均販売単価は前年を下回りました。生産面においては、効率性や歩留まり向上によるコスト削減と品質管理強化に努めました。また、海外においては、ベトナム（ハノイ）における設備増強を本格化させ旺盛な需要の取り込みに成果を得ております。

その結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は333億38百万円(前年同期比100.0%)、営業利益７億37百万円(前年同期比75.4%)、経常利益10億30百万円(前年同期比95.4%)、四半期純利益４億35百万円(前年同期比117.7%)となりました。

セグメントの業績の状況は次のとおりであります。

①　包装材関連事業

当セグメントにおきましては、売上高は355億77百万円(前年同期比100.7%)、セグメント利益(営業利益)は８億31百万円(前年同期比80.0%)となりました。

②　不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は２億６百万円(前年同期比74.0%)、セグメント利益(営業利益)は１億38百万円(前年同期比65.1%)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ14億20百万円増加し536億72百万円となりました。これは、主に前連結会計年度末に比べ株式市場が回復したことに伴い、保有している投資有価証券の含み益が増加したことなどによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ１億82百万円増加し245億52百万円となりました。これは、主に短期借入金の返済などによる減少要因があったものの、投資有価証券の含み益が増加したことに伴う繰延税金負債の増加などの増加要因が上回ったことなどによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ12億37百万円増加し291億19百万円となりました。これは、主に投資有価証券の含み益が増加したことに伴うその他有価証券評価差額金の増加および四半期純利益の計上などによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

わが国経済の先行きは、国内需要を下支えとして回復する方向にはあるものの、輸出や生産活動が弱含む要因も抱えています。長期化する円高および欧州景気低迷や新興国の成長鈍化によって輸出は増えにくい状況にあります。足元の企業動向においては、エコカー補助金終了や中国向け輸出減に対応して、輸送機械をはじめとする製造業中心に在庫調整の動きが強まるほか、冬のボーナスが伸び悩む懸念から個人消費が力強さを欠く可能性も少なくありません。

このような状況において当社は、販売力強化とコスト削減による収益性の改善を継続し、平成24年８月２日に公表しました業績予想の達成に努めてまいりますので、業績予想の修正はしておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準委員会第24号　平成21年12月４日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の摘要指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	627,426	658,865
受取手形及び売掛金	14,275,714	13,807,552
商品及び製品	651,438	658,194
仕掛品	196,750	212,386
原材料及び貯蔵品	1,107,662	1,012,414
繰延税金資産	565,565	512,010
その他	212,625	313,196
貸倒引当金	△26,638	△16,088
流動資産合計	17,610,545	17,158,531
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,328,355	16,228,025
減価償却累計額	△8,745,428	△8,818,338
建物及び構築物（純額）	7,582,926	7,409,686
機械装置及び運搬具	23,838,889	24,420,237
減価償却累計額	△18,154,062	△18,367,239
機械装置及び運搬具（純額）	5,684,826	6,052,998
土地	7,570,669	7,569,884
その他	1,996,374	2,190,121
減価償却累計額	△1,382,857	△1,460,177
その他（純額）	613,516	729,943
有形固定資産合計	21,451,939	21,762,513
無形固定資産		
のれん	26,919	6,729
その他	310,932	313,541
無形固定資産合計	337,851	320,271
投資その他の資産		
投資有価証券	12,113,171	13,745,937
繰延税金資産	58,670	35,599
その他	943,321	882,354
貸倒引当金	△263,281	△232,718
投資その他の資産合計	12,851,880	14,431,172
固定資産合計	34,641,671	36,513,958
資産合計	52,252,216	53,672,489

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,619,093	11,512,503
短期借入金	5,050,143	4,789,772
1年内返済予定の長期借入金	250,183	250,000
未払法人税等	84,553	128,033
賞与引当金	359,036	560,750
その他	2,736,432	2,630,897
流動負債合計	20,099,443	19,871,957
固定負債		
長期借入金	312,500	125,000
繰延税金負債	1,747,887	2,310,511
退職給付引当金	1,869,512	1,916,849
その他	340,783	328,448
固定負債合計	4,270,683	4,680,809
負債合計	24,370,127	24,552,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,000,000	4,000,000
資本剰余金	16,986,679	16,986,679
利益剰余金	6,741,570	6,778,867
自己株式	△988,960	△982,846
株主資本合計	26,739,290	26,782,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,467,922	2,659,132
為替換算調整勘定	△364,534	△357,435
その他の包括利益累計額合計	1,103,388	2,301,697
新株予約権	39,411	35,325
少数株主持分	―	―
純資産合計	27,882,089	29,119,722
負債純資産合計	52,252,216	53,672,489

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	33,350,744	33,338,928
売上原価	27,687,247	28,083,841
売上総利益	5,663,497	5,255,086
販売費及び一般管理費	4,684,902	4,517,373
営業利益	978,594	737,712
営業外収益		
受取利息	4,895	4,900
受取配当金	136,522	151,732
受取保険金	18,015	70,576
雑収入	52,853	132,697
営業外収益合計	212,286	359,906
営業外費用		
支払利息	42,667	33,904
為替差損	21,101	616
雑損失	47,006	32,826
営業外費用合計	110,774	67,346
経常利益	1,080,105	1,030,272
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,816	－
固定資産売却益	19,500	1,130
投資有価証券売却益	11,277	－
長期未払金取崩益	77,711	－
特別利益合計	112,305	1,130
特別損失		
減損損失	－	1,825
固定資産売却損	674	1,418
固定資産除却損	17,804	160,385
投資有価証券評価損	107	169,887
災害による損失	116,960	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	41,564	－
瑕疵担保責任履行損失	288,000	－
その他	61,124	38,000
特別損失合計	526,236	371,516
税金等調整前四半期純利益	666,175	659,885
法人税、住民税及び事業税	95,478	169,383
法人税等調整額	200,545	54,962
法人税等合計	296,023	224,345
少数株主損益調整前四半期純利益	370,151	435,540
少数株主利益	－	－
四半期純利益	370,151	435,540

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	370,151	435,540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,367	1,191,210
為替換算調整勘定	△61,369	7,098
その他の包括利益合計	△78,737	1,198,309
四半期包括利益	291,414	1,633,849
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	291,414	1,633,849
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

前第３四半期連結累計期間(自　平成23年１月１日　至　平成23年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(千円)(注)１	四半期連結損益計算書計上額(千円)(注)２
	包装材関連事業(千円)	不動産賃貸事業(千円)	計(千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	33,104,819	245,925	33,350,744	―	33,350,744
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,239,403	32,544	2,271,947	△2,271,947	―
計	35,344,222	278,469	35,622,691	△2,271,947	33,350,744
セグメント利益	1,039,101	212,785	1,251,887	△273,293	978,594

(注) １　調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△273,293千円には、主に事業セグメント間取引消去11,653千円、報告セグメント間取引消去△257千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△274,109千円、のれん償却額△20,189千円および未実現利益消去20,236千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第３四半期連結累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(千円)(注)１	四半期連結損益計算書計上額(千円)(注)２
	包装材関連事業(千円)	不動産賃貸事業(千円)	計(千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	33,165,431	173,497	33,338,928	―	33,338,928
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,411,918	32,544	2,444,462	△2,444,462	―
計	35,577,349	206,041	35,783,390	△2,444,462	33,338,928
セグメント利益	831,479	138,491	969,971	△232,258	737,712

(注) １　調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△232,258千円には、主に事業セグメント間取引消去11,036千円、報告セグメント間取引消去△717千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△239,701千円、のれん償却額△20,189千円および未実現利益消去22,378千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。